



We Find the Way

## IR day2022 オープニングセッション

「長期ビジョン・経営計画達成に向けた進捗および今後の取組み」

代表取締役社長： 齋藤 充

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

2022年9月15日

# 海外・国内の経済動向について（経営環境について）

## ■ 世界経済動向

減速する世界経済成長と不透明で暗い見通し（IMF 世界経済見通し 2022年7月）

➤ 2022年のGDP成長率は3.2%、前回（本年4月公表）より0.4ポイント下方修正

- ・米国と欧州諸国の想定以上のインフレ、中国におけるロックダウンとロシアによるウクライナへの侵攻で世界経済は減速。
- ・日本のGDP成長率は1.7%、前回公表より0.7ポイント下方修正。
- ・引き続き、インフレ、コロナ感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻の影響により不透明であり、下振れリスクの方が優勢。

➤ 2023年のGDP成長率は2.9%、前回より0.7ポイント下方修正

- ・2022年よりさらに一段と低下、昨年実績6.1%の半減以下の成長率となる予測。
- ・日本のGDP成長率は1.7%、前回より0.6ポイント下方修正。

## ■ 日本経済動向

2022年度の成長率を前回に引き下げ（日本銀行 経済と物価情勢の展望 2022年7月）

➤ 2022年度のGDP成長率は2.4%、前回（本年4月）公表より0.5ポイント引下げ

- ・中国のロックダウンや半導体不足などによる供給制約が企業の生産や輸出に悪影響を与えていることが主因。
- ・2022年度の消費者物価上昇率は2.3%、前回より0.4ポイント引上げ。
- ・先行きについては、当面経済については下振れリスクが大きく、物価については上振れリスクが多いと予測。

➤ コロナ感染拡大第7波が景気判断に影響（内閣府景気ウォッチャー調査 2022年8月8日）

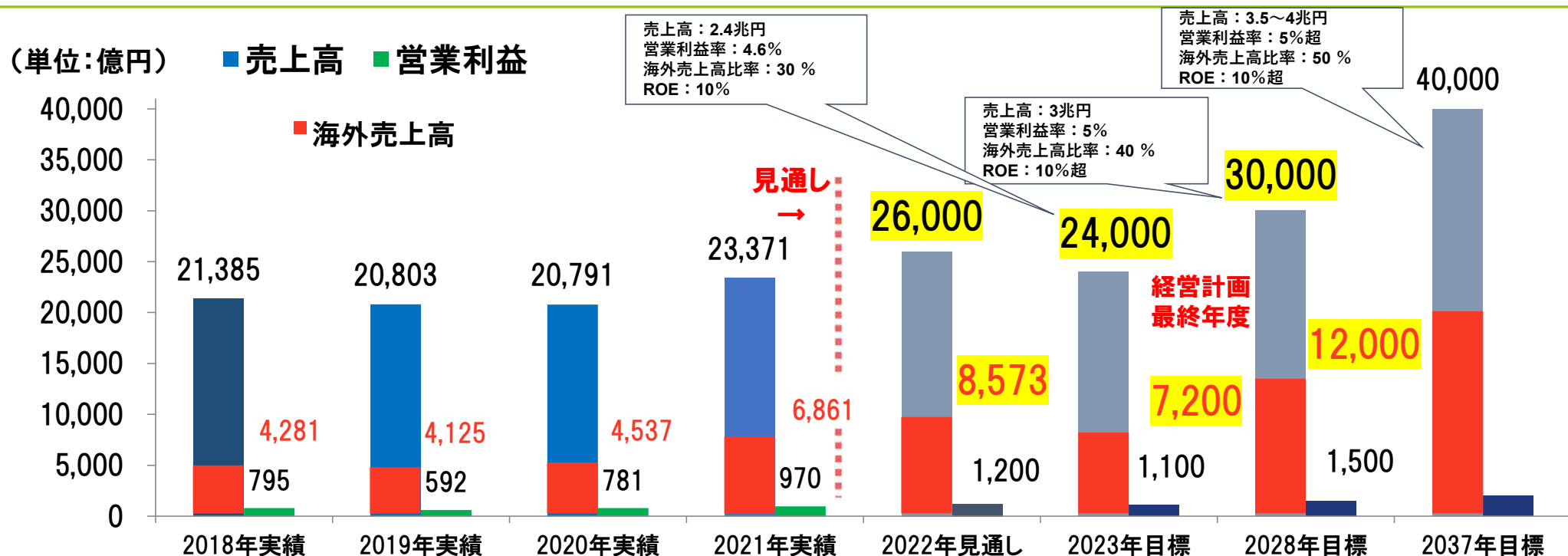
- ・7月以降のコロナ第7波の感染拡大と物価高騰を受けて、景気の現状判断DIは43.8で前月より▲9.1ポイントで2ヶ月連続の低下。
- ・飲食が▲31.2ポイント、サービス関連が▲16.8ポイントと対前月比大幅にマイナス。
- ・先行き判断についてもDIは42.8と前月より▲4.8ポイント。

# 2022年12月期業績予想

## 2022年12月期 通期予想

項目	通期予想 (2022年 1月～12月)	前回予想 (2022年 1月～12月)	増減額 (対前回)	増減率 (対前回)	前年実績 (2021年 1月～12月) プロフォーマベース	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
売上高	26,000	25,500	500	2.0	23,371	2,628	11.2
営業利益	1,200	1,100	100	9.1	970	229	23.6
営業利益率	4.6	4.3	—	—	4.2	—	—
経常利益	1,250	1,120	130	11.6	1,010	239	23.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,250	1,160	90	7.8	661	588	88.9

# 成長イメージ (NXグループ経営計画2023)



進捗状況	2018年実績 (2018年4月~2019年3月)	2019年実績 (2019年4月~2020年3月)	2020年実績 (2020年4月~2021年3月)	2021年実績 (プロフォーマ) (2021年1月~2021年12月)	2022年見通し (2022年1月~2022年12月)	2023年度目標
売上高	2兆1,385億円	2兆803億円	2兆791億円	2兆3,371億円	2兆6,000億円	2兆4,000億円
営業利益	795億円	592億円	781億円	970億円	1,200億円	1,100億円
営業利益率	3.7%	2.8%	3.8%	4.2%	4.6%	4.6%
海外売上高比率	20.0%	19.8%	21.8%	29.4%	33.0%	30.0%
ROE	9.2%	3.2%	10.0%	※9ヶ月実績 8.9%	18.5%	10.0%

# 長期ビジョン・経営計画達成に向けた進捗および今後の取組み

## NXグループ経営計画2023

### コア事業の成長戦略

#### <顧客軸アプローチ>

- ・アカウントマネジメントの推進、GAM/GTAの取組み等による非日系顧客の取扱い拡大
- ・重点産業の取扱い伸長（特にモビリティ・半導体）
- ・医薬品物流事業への挑戦（医薬センター整備、米MDL社の買収、世界各地でのGDP認証取得）

#### <事業軸アプローチ>

- ・グローバルNVOCCセンター（GNC）の設立によるグローバル購買体制の構築
- ・フォワーディング数量の伸長（コロナ禍でも2019年3月比 海運7万TEU 航空7万t増）

#### <エリア軸アプローチ>

- ・海外事業の確実な伸長

### 日本事業の強靱化戦略

#### <専門事業の収益性向上>

- ・警備輸送事業分社化の検討（2023年1月に分社化決定）
- ・不動産開発事業の伸長

#### <事業・事務生産性の向上>

- ・支店の大括り化・管理組織のスリム化進展  
（2018年3月：54特定支店 ⇒ 2021年1月：31特定支店）
- ・経理SSC業務の拡大、給与SSC業務の取組み

#### <低収益事業の抜本的改革>

- ・青函フェリー事業の譲渡・自動車学校事業の譲渡・旅行事業の清算

## 長期ビジョン実現のための取組み

#### <非連続な成長戦略>

- ・米MDL社の買収による医薬品物流事業の強化
- ・日通商事（現NX商事）リース事業のオフバランス化
- ・物流不動産流動化スキームの確立

#### <取組みを支える機能の強化>

- ・Microsoft Office365の導入によるコミュニケーション改革（テレワークの推進が可能となり、コロナ禍でも業務継続が可能に）
- ・プロフェッショナル採用（中途採用）による人財の確保
- ・グループブランドの導入と、新たなブランド戦略の取組み開始

#### <持続的成長と企業価値向上のESG経営>

- ・ワークスタイル変革（テレワークの定着、服装の自由化、ペーパーレス、フリーアドレス等の推進、組織風土改革の推進（「さん」付けの定着）など）
- ・社員制度改革・グループ各社における同一労働・同一賃金対応
- ・グループ経営体制・グループガバナンスの強化（ホールディングス体制への移行、統合的リスクマネジメント体制の構築）

# 長期ビジョン・経営計画達成に向けた進捗および今後の取組み

## 経営数値目標

売上高・営業利益（率）・純利益・海外売上高・ROE・FWD数量  
セグメント別（ロジスティクス・重機建設・警備輸送・物流サポート）

## NXグループ経営計画2023 取組み骨子

### コア事業の成長戦略

- ・グローバル市場での成長
  - ・国内大都市への経営資源集中
- 〔 GBHQを中心とした  
グローバル事業戦略の加速 〕

### 日本事業の強靱化戦略

- ・専門事業の収益性向上
  - ・営業・事務生産性の向上
  - ・低収益事業の抜本的改革
- 〔 日本事業の構造改革 〕

### 長期ビジョン実現のための取組み

- ・非連続な成長戦略
  - ・取組みを支える機能強化
  - ・持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立
- 〔 社員が幸せを感じる会社 〕

## 2022年～2023年度

### NXグループ誕生 ホールディングス体制で変革を加速

- 事業ポートフォリオの見直し  
・グループ事業の再編
  - 専門事業の強化  
・警備輸送事業分社化による事業強化
  - 非連続な成長  
・海外におけるM&Aの強化
  - ガバナンスの強化  
・グローバル統括機能の進化
  - ブランド戦略  
・NXグループブランドのグローバル浸透・強化
- 〔 グループ内で重複する事業・機能の整理統合  
CF、ロジスティクスファイナンス事業の再編 〕
- 〔 リスクマネジメント、グループ  
財務ガバナンス体制強化 〕

2037年長期ビジョン  
「グローバル市場で存在感を持つ  
ロジスティクスカンパニー」

# 中期経営計画の進捗状況（KPI）

## NXグループ経営計画2023 KPI<コア事業の成長戦略>

項目 (売上高)	日本*1			海外		
	2022年 1月～12月目標	2023年 経営計画最終目標 (KPI)	進捗率	2022年 1月～12月目標	2023年 経営計画最終目標 (KPI)	進捗率
電機・電子産業の取組強化	1,160億円	1,200億円	97%	1,740億円	1,740億円	100%
自動車産業の取組強化	1,000億円	1,100億円	91%	1,100億円	1,200億円	92%
アパレル産業の取組強化	180億円	200億円	90%	770億円	800億円	96%
医薬品産業の取組強化	220億円	300億円	73%	300億円	400億円	75%
半導体関連産業の 取組強化	378億円	455億円	83%	180億円	200億円	90%

項目	2022年 1月～8月実績	2022年 1月～12月予想	2022年12月期 進捗率	2023年 経営計画最終目標 (KPI)	予想対経営計画目標 (KPI) 進捗率
海上フォワーディングの拡大 *2	50万TEU	95万TEU	53%	110万TEU	86%
航空フォワーディングの拡大 *2	59万t	110万 t	54%	120万 t	92%

\*1. 実績、KPI数値は、日本通運のみ。 \*2. 実績、増減率は四捨五入し記載

# 中期経営計画の進捗状況 (KPI)

## NXグループ経営計画2023 KPI<コア事業の成長戦略>

項目 (売上高)	2022年 1月~12月予想	2023年 経営計画最終目標 (KPI)	進捗率
非日系顧客の拡大 (GAM・GTA*3)	792億円	869億円	91%

## NXグループ経営計画2023 KPI<間接部門コスト削減>

\*3. GAMとは、GAM (Global Account Management) のこと。GTAとは、GTA (Global Target Accounts) のこと。

日本事業の強靱化戦略	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年12月期 実績 (4月~12月)	2022年12月期 目標	累計 (2019年4月 ~2022年12 月)	2023年 経営計画最終 目標 (KPI)	予想対 KPI (2023 年) 進捗率
組織の大括り化・管理組織のスリム化*4	11億円	22.2億円	0.4億円	3.6億円	37.3億円	45億円	83%
事務プロセスの改革	9.5億円	23.6億円	△3.5億円	15.9億円	45.5億円	50億円	91%
料金改定	24億円	16億円	7億円	11億円	58億円	50億円	118%

\*4 「組織の大括り化・管理組織のスリム化」の実績・目標数値は、施策の実施規模・目安額を記載





本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。  
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、  
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。  
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、  
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。